広報
さかえ
平成29年
12月号
第409号
発行／栄村役場

～箕作平滝大橋開通式～

11月15日（水）一般県道箕作飯山線箕作平滝大橋の開通式が開催されました。

当日は、箕作の久保田光具さん一家、平滝の油科仲一さん一家の両家3世代による渡り初めが行われ、秋晴れの下、大勢の住民の方々も参列され盛大にとり行われました。

【箕作平滝大橋　橋長L＝169.0m】

主な内容

■栄村表彰式について ほか……P2
■栄小卒業証書作成 ほか……P3
■水道管凍結防止について ほか……P5
■地域発元気づくり支援金説明会について ほか……P7
■保健だより……P11
公民館報（第320号）……P14-21

平成29年度 栄村表彰式開催

11月3日（金）、栄村役場で平成29年度栄村表彰式が開催され、功労の部で3名、善行の部で1名の方が表彰されました。

表彰式には2名の方が出席され、森川村長から表彰状と記念品が授与されました。

《功労の部》

○赤津（あかつ） 安正（やすまさ）（長瀬）

平成元年から24年の永きにわたり栄村議会議員として活躍されるとともに、その重責を担われ村政の発展と村民福祉の向上に多大な貢献をされました。

○齋藤（さいとう） 康夫（やすお）（原向）

昭和62年から30年の永きにわたり栄村農業委員会委員として活躍されるとともに、その重責を担われ農業の振興と発展に多大な貢献をされました。

○廣瀬（ひろせ） 幸雄（ゆきお）（白鳥）

平成13年から15年の永きにわたり村の降雪・積雪量調査員として、栄村の気象観測に多大な貢献をされました。

《善行の部》

○株式会社 フクザワコーポレーション 代表取締役 福澤（ふくざわ） 直樹（なおき）（飯山市）

村の公益のため多額の篤志を寄付されました。

森地区水源転換工事の竣工について

森地区水源転換工事は工事の殆どが工程どおり完了し、10月28日（土）に震災前の水源から水道水を供給するための式典を開催しました。当日は森地区の住民の方にご参加いただき、村長、森区長より止水栓の開栓を行い無事に通水することが出来ました。また、同時に進行していた水道管洗浄作業も、7月中旬に洗浄を無事完了することができ、これにより今まで以上に、安心・安全な水道水を供給できることになりました。

▲森川村長と森区長による止水栓の開栓

菊の花で繋ぐおもてなし

森商工振興会では、森宮野原駅と道の駅「またたび」の間の道路沿いに菊の花を植え、観光施設への道しるべとして繋げたいという思いで昨年から活動しています。

その活動が広まり、今では有志の方々の協力などもあり、森商店街や役場周辺にも鮮やかな黄色や赤の菊の花が広がり、華やかな雰囲気となりました。

今年は４５０本もの菊を植え、栽培してきましたが、水の管理や病気などもあり苦労したそうです。これからは、秋の菊だけでなく、夏の花にも挑戦したいと、すでに来年へ向けて進み始めました。

皆さんも近くを通った際には、ぜひ目を向けてみていただけたらと思います。

▲森商店街を彩る菊

世界に1枚だけの卒業証書

11月10日（金）栄小学校の6年生5名が、飯山市瑞穂にある（有）阿部製紙において卒業証書作りに挑戦しました。

栄小学校では、近年、卒業生自らが卒業証書の紙を手作りしており、今回も伝統工芸品に指定されている「内山紙」を用いることになりました。

児童たちは、冷たい水に手を付けて紙すき体験をし、最初は緊張と冷たさでこわばった様子で手を動かしていましたが、2回目になると、徐々に集中した表情に変わり、一人一人が世界に1枚だけの卒業証書を創り上げていました。

児童たちに感想を聞くと、「緊張と水の冷たさで手が震えた」「難しかったけど、完成が楽しみ」など貴重な体験ができ、笑顔で答えてくれました。

「内山紙」の伝統が今年も栄小学校の卒業生たちの卒業証書として活躍しています。

▲集中した様子で紙をすく

▲真剣な表情で説明を聞く

月岡靖様より電気自動車（EV）を寄贈

東京栄村会会員の月岡靖氏（白鳥出身）より、電気で走行する小型自動車（EV）1台を寄贈いただきました。月岡様は愛知県岡崎市で大手自動車メーカーの特殊車輌部品を製作する会社を経営しており、平成9年にも福祉車両1台を寄付いただいています。今回寄贈いただいた電気自動車にも月岡氏の会社の部品が使われています。さらに、月岡氏からは故郷栄村の振興を後押ししたいと200万円の寄付金もいただいており、村の元気づくりのための基金として有効活用させていただきます。

寄贈していただいた電気自動車は現在役場庁舎のホワイエに展示しています。試乗はできませんが庁舎へお越しの際はぜひご覧ください。

日本生命津南営業部親交会より寄付金

10月30日（月）日本生命津南営業部親交会より栄村ふるさとづくり寄付金を受けました。この寄付金は福祉事業に充てられます。

栄村関西の会より寄付金

11月15日（水）栄村関西の会より寄付金を受けました。

同会では平成26年度より寄付を続けており、今年で4年目となります。いただいた寄付金は教育分野で活用されます。

道路除雪にご協力ください

冬期間、村では生活道路の交通確保のため、除雪作業を行います。安全でスムーズな除雪作業を実施するにあたり、村民の皆様のご協力をお願いします。

①路上駐車をしないでください。

降雪中や夜間の作業は視界も悪く路上駐車は大変危険です。また、駐車されている部分の除雪ができず、交通の障害にもなりますので、路上駐車はしないでください。

②除雪車には近づかないでください。

作業中の除雪車に近づくと大変危険です。車間距離を十分とり、30m以内に近づかないでください。

また、止まっている除雪車にも近づかないようにしてください。

③出入口にたまった雪は、各家庭で除雪をお願いします。

除雪作業は、限られた時間内に行わなくてはならないため、住宅の出入口付近などに雪がたまってしまうことがあります。これらの雪は各家庭で除雪をお願いいたします。

また、やむを得ずグレーチングを外し、水路へ雪を流す場合は、除雪後にグレーチングに付いた雪をしっかり落として、路面より高くならないように元に戻してください。

④夕方の降雪は、翌日の早朝除雪となる場合があります。

午後3時以降に降雪が15cm以上あった場合でも、翌朝の除雪となる場合があります。

⑤積雪の状況で除雪作業が遅れる場合もあります。

降雪時間、積雪状況などによって、除雪作業が遅れる場合もありますので、ご了承ください。

⑥昼間は消雪パイプの水が出ない時間帯があります。

午前10時～11時と午後2時～3時の2時間は、タイマーの設定により消雪パイプの水が出なくなりますので、ご協力をお願いします。

⑦役場駐車場は夜間の駐車はできません。

役場駐車場は、役場に用事のある方以外の駐車はできません。

特に、夜間・早朝は除雪作業の妨げになりますので、降雪の有無に関わらず、駐車しないようにお願いします。

【問合せ先】
産業建設課　建設係
☎0269-87-3113
☎050-3583-2112(直通)

村の除雪作業は、降雪15cm以上が目安となります！

歩行除雪機による事故・雪下ろし中の事故を防ぎましょう!

◆除雪機を使用する際には、使用者の責任において、正しい操作で、安全に作業しましょう。

①除雪作業中は、まわりに人を近付けないようにしましょう！
②雪詰まりを取り除くときはエンジンを停止し、必ず雪かき棒を使いましょう！
③除雪機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください！
④後進するときは、足もとや後方の障害物に注意してください！

◆屋根の雪下ろしを行うとき

①転落事故や屋根雪の下敷きにならないように、十分に注意して作業しましょう！
②できるだけ2人以上で作業しましょう！
③ヘルメットをかぶったり、命綱を付けたりして安全を確保しましょう！

水道の宅内配管 凍結防止についてのお願い

冬期間は寒波による凍結や落雪等により水道管が破損漏水する事故が発生しています。

メーター器から先の宅内配管は、使用者個人の管理となりますので、もし、漏水事故があると、地区全体の断水など多くの皆さんに迷惑をかけてしまうだけでなく、多額の水道料金をお支払いいただくことにもなってしまいます。

漏水事故のないように水道の管理をお願いいたします。

凍結等による事故を未然に防ぐために、次の事項に注意してください！

◇水道管の立ち上がり部分が外気にさらされている箇所には、電熱線、電熱ヒーター等を巻いてください。また、コンセントが差し込まれているか、通電しているかを確認してください。

◇屋外水道、不凍栓には棒などの目印を立てて、雪下ろしや除雪作業による破損を防止してください。

◇長期間不在となる家屋または冬期間使用しない屋外水道などは、不凍栓を閉めるか、メーターボックス内の止水栓を閉め、水抜きをしてください。

宅内配管で漏水があるかの確認方法

◇水道メーターの表示盤に、漏水マークが表示された場合は漏水の可能性がありますので、宅内の配管を点検し、産業建設課へ連絡してください。

凍結してしまったら・・・

◇水道管や蛇口にタオルを巻きつけ、ゆっくり時間をかけてぬるま湯をかけてください。このとき熱湯をかけると水道管が破損する恐れがありますので、注意してください。お湯をかけても解けない場合は水道修理業者へ修理を依頼してください。

《冬期間のメーター検針について》

玄関先等に水道メーターの表示盤を設置してある世帯については、1月と3月にメーター検針を実施いたしますので、表示盤付近の除雪をお願いいたします。

【問合せ先】
産業建設課　建設係
☎0269-87-3113

年末年始の各施設等の業務日程について

役場及び秋山支所	12月29日（金）～1月3日（水）まで休業 ※役場は日直がいますので各種届出の受領はできますが、証明書の発行等はできませんので、ご了承ください。
栄村診療所	12月29日（金）～1月3日（水）まで休診
歯科診療所	12月29日（金）～1月4日（木）まで休診
津南地域衛生施設組合	12月31日（日）～1月3日（水）まで休業 ※詳細はごみカレンダーをご覧ください。
老人福祉センター（長瀬）	12月25日（月）～1月3日（水）まで休業
栄村社会福祉協議会	12月29日（金）～1月3日（水）まで休業 ※急用の場合は☎0269-87-3450へおかけください。
デマンド交通（カタクリ号）	12月28・29日　通常ダイヤ 12月30・31日、1月2・3日　土日・祝日ダイヤ　※1月1日運休 ※1月4日より通常ダイヤ、1月2日の予約は12月31日までにお願いします。

日体大集団行動を体験

11月5日（日）日本体育大学の「集団行動」合宿の見学・体験に、さかえスポーツクラブに所属する子どもたち21名が参加してきました。号令に従って歩行しながら様々な演技をする学生たちに感動するとともに、その一寸の狂いも許されぬ厳しさに「きびしい…」と思わず声に出す子どももいました。体験では、和気あいあいとした雰囲気の中で動きを教えてもらい、最後にはクラブごとに発表し合いました。参加した子どもたちのいきいきとした表情から、楽しさや充実感が伝わってきました。

▲さかえスポーツクラブの子どもたち

栄村戦没者追悼式

11月7日、戦争で亡くなられた御霊を追悼する「栄村戦没者追悼式」を挙行しました。

式典には北信地域振興局長、栄村議会議長をはじめとする来賓の方々や戦没者遺族会会員の方などが出席しました。

出席者一人一人が献花を行い戦争で亡くなられた皆様のご冥福をお祈りしました。

また栄中学校生徒（3名）による広島平和学習活動の体験発表が行われ、被ばくの悲惨さを学習したことで、同じ悲劇を繰り返さないようにしていかなければならない思いを新たにしたとの決意が述べられました。

▲栄中学校生徒による発表の様子〈会場:カタクリホール〉

「家庭介護者の集い」を開催

11月10日（金）に高齢者の介護をしている方を対象に「家庭介護者の集い」を開催しました。はじめに肩こり腰痛予防の体操をして体をほぐした後、お茶飲みをしながら日頃の悩みなどを話し合いました。今回は少人数での開催でしたが、参加者からは「自分と同じように介護している人の話を聞けて良かった」「気持ちが少し楽になった」などの感想をいただきました。困り事があったら一人で悩みを抱え込まないで、自分の話を聞いてもらったり、他の人の話を聞いてみたりするのも一つの手段です。来年も11月11日（介護の日）頃開催を予定していますので、ぜひご参加ください。

また介護についての相談は栄村地域包括支援センターまでご連絡ください。

【問合せ先】
健康支援課　介護支援係
栄村地域包括支援センター
☎0269-87-3301

櫻沢美代子さんが全国市町村教育委員会連合会表彰を受賞

前教育長職務代理の櫻沢美代子氏が2期8年にわたり教育委員として在職され、その間、教育委員長職を3年間務めるなど広く教育行政に尽力された功績により平成29年度全国市町村教育委員会連合会表彰並びに長野県市町村教育委員会連絡協議会表彰を受賞されました。

▲櫻沢美代子氏

栄BBC「王将杯」優勝

津南町体協野球部主催のナイターリーグ「王将杯」が今年も津南の河川敷で開催されました。

このリーグは、津南町から8チーム、栄村から1チーム計9チームによる総当たり戦で半年間通じて行われます。

今シーズンも5月に開幕し、熱い試合が繰り広げられました。そんな激戦の中「栄BBC」がリーグ1位で決勝トーナメントに進出し、決勝戦では対上郷ライオンズに5対0で勝利し、見事2年ぶりの優勝を果たしました。

《栄BBC　年間成績》
・リーグ成績　7勝1敗（1位）
・決勝トーナメント　優勝

▲優勝した「栄BBC」ナインの皆さん

平成30年度地域発元気づくり支援金説明会の開催について

県では、地域の元気を生み出す事業に取り組んでいる団体の皆さんを支援しています。「地域をよくしたい」「こんな活動をしてみたい」など、地域づくりにこの支援金を活用してみませんか。地域づくりを実践する団体の皆さんが円滑にこの制度を活用いただけるよう、制度の概要等をご案内する説明会・個別相談会を行います。

平成30年度に向けて本事業の活用を計画している団体は、ぜひご参加ください。

◇日時　平成29年12月20日（水）
13時30分～15時
◇場所　北信合同庁舎　4階講堂
※個別相談会を希望される団体は12月15日までに総務課企画財政係まで申し込みください。
※業務内容については、県のホームページに紹介されています。
長野県元気づくり支援金　で検索

【問合せ先】
北信地方事務所　活力創出係
☎026-232-0111
☎026-235-7021（直通）

オレンジリボン運動（児童虐待防止）について

栄村役場　総務課　企画財政係
☎0269-87-3112

2004年栃木県小山市で3歳と4歳になる二人の兄弟が父親の友人から再三にわたって暴行を受け、息も絶え絶えの状態で、橋の上から川に投げ込まれ幼い命を奪われるという痛ましい事件がありました。

この事件をきっかけに、児童虐待防止のシンボルマークとして全国でオレンジリボン運動が始まりました。

児童虐待は被害を受ける子ども達が自ら訴え出ることが難しい案件です。村内はもとより、村外でも虐待と疑われる事例がある場合には3ケタダイヤル「189」（いちはやく）へ通報をお願いします。（匿名通報が可能です。）

30（さんまる）・10（いちまる）運動　実施について

楽しかった宴会も御開き。テーブルの上を見ると、お料理がまだ残っているなんてことはありませんか？宴会における料理の食べ残しがないように呼びかける取組の名称を、「残さず食べよう！30・10（さんまる・いちまる）運動」と呼び実施していきます。

皆さん宴会が始まった最初の30分と最後の10分間は自分の席について料理を楽しみ、食べ残しを減らしましょう。

また、幹事さんを中心に、参加者の皆さんで「食べ残しをしないようにしよう」と呼び掛け、〝もったいない〟の気持ちを大切にした宴会にしましょう。

年末の交通安全運動が実施されます

期間：平成29年12月1日（金）～平成29年12月31日（日）

◇夕暮れ時・夜間に外出する際は、明るい服装や反射材を使用してドライバーから見えるようにしましょう。
◇夕暮れ時・悪天候時は早めにライトを点灯しましょう。『4時から点灯』を実行！
◇飲酒運転は家族の人生までも台無しにしてしまう、重大な犯罪です。みんなで声をかけあって未然に防止しましょう。
◇全席でのシートベルト着用、チャイルドシートの正しい着用を徹底しましょう。

スローガン　～思いやり　乗せて信濃路　咲く笑顔～

村内河川の水質調査結果について

村では、村内の中小河川及び集落内水路の水質検査を年1回行なっています。調査地点は昨年同様の10地点で、今年は9月26日に実施しました。

検査の結果は、大腸菌群数が中津川水系小赤沢川で、また千曲川水系では中条川を除くすべての箇所で、基準値を超過している状態です。しかしながらこの数値は過去の結果と比較しても特異な数値ではなく、大腸菌群数は長野県が県内の主要河川で実施している水質調査でも基準値達成が極端に低いのが現状です。

総合的には、BODが定量下限未満＜0.5mg/l～1.5mg/Lと低いことから、千曲川・中津川両水系とも有機汚濁の少ない水質であると言えます。

きれいな川を守っていくために、汚れた生活排水を河川に流さないよう、引き続き皆さんのご協力をお願いいたします。

調査地点＼調査年度		大腸菌群数の推移（単位：MPN/100ミリﾘｯﾄﾙ）					BOD（生物化学的酸素要求量）の推移（単位：mg／ﾘｯﾄﾙ）		
		H25	H26	H27	H28	H29	H27	H28	H29
橋場川	橋場川橋	7900	3300	13000	2000	6000	0.5未満	0.5未満	0.5未満
小箕作川	小箕作橋	4900	2400	2800	6300	2400	0.5未満	0.5未満	0.5
大巻川	大巻橋	4900	1300	3500	5000	1800	0.5未満	0.5未満	0.5未満
横倉	集落内水路	1300000	7900	12000	2700	5000	0.6	0.5未満	1.5
中条川	栄大橋	未実施	7900	7100	34000	500	0.5未満	2.3	0.5未満
森	沢尻橋	24000	3300	14000	16000	12000	0.5未満	0.5未満	0.5未満
千曲川	宮野原橋	35000	1300	16000	5000	2800	0.6	0.5未満	0.5未満
志久見川	志久見橋	17000	1300	3400	7000	1800	0.5未満	0.5未満	0.5未満
小赤沢川	小赤沢橋	1100	7900	500	1100	700	0.5未満	0.5未満	0.5未満
中津川	秋山小学校下	3300	330	400	200	2.0以下	0.5未満	0.5未満	0.5未満

●河川水の汚濁指標●

	BODの数値
大変きれいな水	0.5未満
きれいな水	1.0未満
水浴可能程度の水	2.0未満
少し汚れた水	3.0未満
汚れた水	5.0未満
大変汚れた水	5.0以上

＊1 大腸菌群数（MPN）

大腸菌群数は、人間又は動物の排泄物による水の汚染指標として用いられます。大腸菌には、腸内に生存しているもののほか、草原や畑などの土中に生存しているものも含まれるが、一括して大腸菌群として測定している。

※大腸菌群数の基準　・千曲川水系　1000MPN／100ml以下
　　・中津川水系　50MPN／100ml以下

＊2 BOD（生物化学的酸素要求量）

河川水などの有機物による汚濁の程度を示すもので、有機物質が酸化分解されるときに消費される酸素の量をいい、数値が高いほど有機物の量が多く、汚れが大きいことを示している。

～おらとこの自慢～

今回は青倉の高橋健さんに、「田直し事業」についてお話しを伺いました。

「田直し」とは、複雑な地形の棚田を農家の方が使いやすくするため、区画整理を行う事業です。村の田直し事業の基本的な考え方は、農家費用負担の軽減を図りながら、農作業の効率化により、高齢化が進む中でも水田の維持、荒廃抑制につなげ集落営農を推進させていくことにあります。

高橋さんは以前、個人で田直し作業を行っていましたが、役場のオペレーターとして採用され、現在も引き続き田直し事業等に取り組んでいます。

村で唯一の田直し作業専門の技術者であり、重機を自分の体の一部であるかのように扱って、正確で丁寧な仕事を行っています。

平成元年から始まり、当時は年間131枚の田を40枚にまで区画整理したこともありました。

面積的には、多い年で4haの田んぼを整備しました。平成元年から平成27年まで合計50・83haもの田直しを行ってきました。

高橋さんは今後も村の農業存続のため、田直し事業にまい進していくとのことでした。

▲田直し作業中の高橋健さん

◇◇村史編纂室から⑧◇◇

栄村を訪れた高野辰之Ⅱ

日出山の集落を通って秋山へ向かった辰之たちは、まず前倉の集落に着きました。山田又助宅で休ませてもらい昼食をとりました。思いがけずお茶をふるまわれて、辰之は歌を詠みました。

おもひきや　深山の奥に訪ね来て
宇治の香りを　身にしめんとは

人情の深さと茶の香りに心を打たれ、一休みできたところで屋敷を目指しました。屋敷では、山田大吉宅に立ち寄ってお茶を一服いただき、熊を突く槍などを土産に求めました。

次の目的地は小赤沢の宿屋です。激流に身の危険を感じながら中津川の木橋を渡りました。宿屋・山田六之丞家（現在の秋山館）に到着すると、この宿に85歳の老翁がいて、60年ほど前の天保の大飢饉の話をしてくれました。100軒あった家は20軒に減り、400人の人は100人未満に減ったというのです。

辰之は宿で床についたものの、月夜の晩で眠りにつけませんでした。そこで宿の外に出てみると、遠くに中津川の白い流れが見え、夜風がすがすがしく吹いていました。引き返そうかと悩みながら渡ったことが思い出されて、ここでまた歌を詠みました。

眠られぬ　草の枕に聞こゆなり
渡り悩みし　河の瀬音の

翌日は苗場山の登頂を予定していました。辰之の『秋山紀行』はここで終わります。多感な青年期に秋山を訪れたことが、その後のすぐれた詩歌の誕生につながったのでしょう。

信濃教育会誌『信濃教育第1244号』の原文を読んでみたい方は村史編纂室へご連絡ください。

秋山協力隊通信 vol.30

寒くなってきましたが皆さんいかがお過ごしでしょうか？これからインフルエンザなども流行る時期なので体調等くれぐれもお気をつけください。

さて、着任から3年間夏・秋に開催したお茶のみスペース「じょんのび茶の間」が終了しました。年々お客様が増え、今年は500名以上のお客様にお越しいただきました。「じょんのび茶の間」では、お茶のみ以外にも地域の方の手作り雑貨・木工品販売、ミニ直売所にて野菜・乾物販売等を行いました。また今年は地域の方の手作り品も増え、多くのお客様に手に取っていただきとても嬉しかったです。特に実用性のある商品が人気で、まとめ買いしてくださる観光客の方もいました。またミニ直売所では、特に保存のきく乾燥物が人気でした。手作り品や直売所商品などの地域の方々が手間ひまかけて作った愛情の込った商品を販売させていただけたことに感謝しています。

じょんのび茶の間の目的は「観光客の方の足休めの場」「地域の方の憩いの場」「地域と観光客の交流の場」の三つを主に掲げていました。観光客の方からは「こういう立ち寄れる場所があって良かった」との声を頂いたり、集落を越えて地域の方同士の交流があったり、期間中何度も来てくださったお客様もいました。また、観光客の方に秋山郷のお話をしてくださる地元の方もいらっしゃいました。観光客の方はとても喜んでくださり、地元の方もとてもイキイキと話している姿が見受けられました。

三年間じょんのび茶の間を続けてこられたのは、施設管理の方、地域の皆さま、遊びに来てくださった方々、応援してくださった皆様のおかげです。この恩を忘れず、残りの任期と任期終了後も少しでも地域の力になれるように頑張ります。ありがとうございました。

いよいよ雪のシーズンが到来です。雪かきなどは大変ですが、冬景色を見るのが楽しみです。路面も凍結しているので歩行や、運転の際はお気をつけください。

（地域おこし協力隊　山田 敦子）

苗場山麓ジオパーク通信（31）

10月25日（水）～27日（金）秋田県男鹿半島で日本ジオパークの全国大会が開かれました。

全国大会は日本ジオパークの方針決めや、地域とジオパーク関係者の交流を目的に毎年1回開催されています。

日本のジオパーク認定地域は、2017年9月現在で43地域。準備をしているところが18地域あります。日本は47都道府県だという事を考えると、1県1つ以上ジオパークの活動をしている地域があることになります。多いですよね。

「ジオ」というのは簡単に言うと私たちが立っている「地面（大地）」のことで、地面があるから、植物が生え、動物が育ち、人が住み、そして文化が生まれる。

その私たちが生まれる根本となった地面と植物や動物を理解し、保全や観光等の活用につなげていく。

すべてを取り入れた、ジオパークのものの見方が良いという事で、ジオパーク急増の元になっているのかもしれません。

全国大会では秋田のなまはげやきりたんぽ、大潟村（八郎潟）の干拓の様子など多くの学びがありました。皆様も、秋田や他の地域のジオパークをぜひ訪れてみてください。

（文責　越智）

▶全国大会の様子

栄村と津南町を繋ぐレインボー

津南小4年生が作成した「苗場山麓ジオ新聞」を栄村役場庁舎1階、玄関突き当りのホワイエにて展示しています、12月15日(金)まで。

ご覧になった方は、展示場に感想用紙がありますので、ぜひご記入ください。

ジオサイト巡り（座学）のお知らせ

【日時・内容】
12月8日(金)　18時30分～20時
参加無料・どなたでも参加できます。
津南町なじょもんで、今年度のジオサイト巡りの振り返りをします。「ジオサイト巡りってどんなことをやっているの？」と興味関心のある方はぜひお越しください。

【持ち物】
筆記用具など

【申込み・詳しい問い合わせ】
苗場山麓ジオパーク推進室
☎025-765-1600

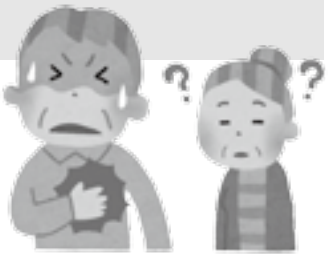
※ジオガイド養成講座も兼ねています。ガイド認定試験の受験を考えている方はぜひ参加ください。

保健だより

血圧と食事について

みなさん、血圧に関心は持たれていますか？「まだ若いから大丈夫」「この歳だから血圧は高くて当たり前」なんて考えていませんか。若くても、歳を重ねても、血圧管理は大切になります。そのためには運動やストレス対策などありますが、今回は血圧と食事について考えてみましょう。

☆高血圧はさまざまな病気の要因



血圧は、精神・身体活動が活発になると高くなります。また季節でも変動し、夏は低く、冬は高い傾向にあります。血圧が高くなり過ぎ高血圧となると血管や心臓への負担が増え、循環器疾患や腎臓病および認知症などにかかりやすいとされています。

☆血圧と塩分

さて、血圧と食事の関係ですが、最も気になるのはやはり「塩分」です。塩分摂取がとても少ない地域の人は、歳を重ねても血圧は上がらないことが知られています。また、塩分摂取量が多い人が塩分を減らした際には血圧が下がることも知られており、塩分を1g減らすと収縮期血圧が1mmHg下がるといわれています。

☆私たちの塩分摂取量は？

現在、12歳以上の日本人の1日塩分目標量は男性8g未満、女性7g未満です。9月に開催された村の健康まつりで、希望者に実施した尿中塩分測定では、ほぼ全員が10gを超えていました。

☆どうしたらいいの？

もう減塩を始められている方は、ぜひ継続してください。継続が最も大切です。始めようと思われた方は、気にすることから始めてください。減塩の取り組みは人それぞれです。漬物に醤油をかけている方はかけ醤油を控えることから、化学調味料を使われている方は塩分無添加だしへ切り替えるなど、必要な事、出来る事は食生活や価値観により様々だと思います。もし、私はどうしたらいいの？と言う方がいましたら、栄養士までお気軽にご相談ください。

☆まとめ

・若い頃から塩分控えめで歳を重ねても適正血圧
・いつからでも遅くないので適塩生活を始めてみましょう。

【問合せ先】健康支援課　健康増進係　☎0269-87-3020

みゆき野かわら版＋津南情報

岳北地域＆津南町情報コーナー

次は2020年 東京パラリンピック！

10月28日、29日に愛媛県で行われた第17回全国障がい者スポーツ大会（卓球の部）で、津南町の根津勇生（ゆうき）さんが見事優勝を果たしました。中学生時代に卓球の道へ進み、その後一時卓球から離れたものの、NPO法人Tapが卓球をはじめたのをきっかけに再度卓球の道へ。それからは週４回練習に励み、全国で優勝するだけの力を付けました。桑原正教育長は「東京パラリンピックを目指して頑張ってほしい」と声援を送りました。

▲桑原正教育長と握手を交わす根津勇生さん

津南町

高橋まゆみ人形館　秋のコレクション展 「ふるさとの風物詩～季節の便り～」開催中!!

春、家族に見守られ嬉しさいっぱいで迎える入学式、夏休みに田舎のおじいちゃんと見たホタル。秋、伝統や文化を大切に守り続けられる地域の祭り…。

「忘れたくない、残していきたい 大切なもの」 を大きなテーマとして創作される、高橋氏の作品の中から、四季折々のふるさとの伝統行事や、風物詩の作品を集めて展示しています。

■期　間：平成29年9月28日から平成30年3月27日まで
■時　間：10時～16時
■入館料：大人610円、小中学生410円

飯山市

12/23（土・祝）オープン 家族の思い出を積もらせよう 週末は木島平スキー場へ！

木島平村

今シーズンも小学６年生までリフト無料。その他にも楽しさいっぱいの子ども広場に加え、週末はファミリー向けイベントも多数開催！

家族みんなでウィンタースポーツを楽しんではいかがでしょうか。

【問合せ先】木島平スキー場　☎0269-82-3434
URL　http:/kijimadaira.info/

野沢温泉スキー場 イベント情報　Part 1

野沢温泉村

■スキー場オープニングフェスティバル
12月16日11：00～　やまびこゲレンデ
■スキー場でサンタを探そう！
12月23日～24日10：00～
■大晦日ナイター＆カウントダウン花火
12月31日16：30～　長坂ゲレンデ
■明けましておめでとう！樽酒サービス
1月1日11：00～　上ノ平ゲレンデ
■ナスキーと一緒に餅つき大会
1月12日14:00～　日影インフォメーションセンター前
■朝いちシュプールを描け！
1月12日、2月19日、3月5日7：50～
長坂ゴンドラ集合　※悪天候による中止あり
■スキースクール祭
1月12日、2月19日、3月5日
スキー・スノーボード
半日無料レッスン
※詳しくは、野沢温泉スキー場のホームページをご覧ください。

【問合せ】野沢温泉スキー場　☎0269-85-3166
URL　http://nozawaski.com

12月 生活カレンダー

行事予定

10日(日) 武蔵村山市民駅伝【武蔵村山市】
12日(火) 園開放日【北信保育園 9時】
16日(土) さかえ倶楽部スキー場オープンイベント【スキー場 10時】
17日(日) 自然学校【村内】
20日(水) 元気づくり支援金説明会【北信合同庁舎4F講堂 13時半】
26日(火) 園開放日【北信保育園 9時】
27・28・29・30日(水・木・金・土) 歳末警戒
1月1日(月) お正月餅つきイベント【スキー場 13時半】

クリスマス会のお知らせ

12月22日(金) 9時45分～【北信保育園ホール】
保育園に入園していない小さいお友達。
一緒にクリスマス会をしませんか？
サンタさんも来るよー!!プレゼントあるかな？

健康ガイド

5日(火) お達者会【月岡公民館 10時】
6日(水) お達者会【白鳥公民館 13時半】
7日(木) お達者会【長瀬公民館 10時】
〃 【青倉公民館 13時半】
12日(火) 離乳食フォロー教室【集団健診室 10時】
13日(水) インフルエンザ集団接種【診療所 17時】
14日(木) お達者会【志久見公民館 10時】
〃 【横倉公民館 13時半】
15日(金) インフルエンザ集団接種【診療所 17時】
16日(土) インフルエンザ集団接種【診療所 9時】
20日(水) 子育て相談日【集団健診室 9時】
22日(金) 乳児健診【集団健診室 13時】

12月の納税等

○国民健康保険税　○介護保険料
○後期高齢者医療保険料　○村営住宅料
○ケーブルテレビ使用料　○教員住宅使用料
○合併浄化槽使用料　○保育料
○農業集落排水処理使用料　○簡易水道料
○温泉使用料　○温泉休憩所使用料

納期限は 1月4日(木)です

口座振替日

農協・郵便局	12月22日（金）
八十二銀行・県信	12月25日（月）

※振替指定口座の残高を事前にご確認ください。

お詫びと訂正

先月号で掲載しましたさかえ倶楽部スキー場情報において、問合せ先の電話番号に誤りがありました。ご迷惑をおかけし、申し訳ありませんでした。
誤）0269-87-3335
正）0269-87-3355

◆編集後記◆

先月の台風21号の影響により、村内各所でも大きな被害を受けました。千曲川の増水により箕作、月岡集落では、消防団が出動し、深夜までの排水作業にあたりました。また今なお県道秋山郷森宮野原（停）線の一部で土砂崩落により通行止めとなっています。
自然災害はいつ襲ってくるかわかりません。いざという時に備え、自分たちのできる必要最低限の避難準備をして、有事に備えてください。㊊

世帯と人口（11月1日現在）

世帯数	841世帯	前月比-3
総人口	1938人	-8
男	935人	-6
女	1003人	-2

10月中の異動

出生	0
死亡	8
転入	2
転出	2

栄村の気象（10月）

最高気温	26.4℃	10月9日（月）	
最低気温	4.2℃	10月31日（火）	
平均気温	14.1℃	総雨量	320.5㎜

10月火災・救助・救急出動件数

	火災	救助	救急	栄村の搬送医療機関
飯山市	0	1	90	飯山日赤 3 津南病院 2 その他 4 不搬送 2
木島平村	0	0	13	
野沢温泉村	0	0	18	
栄村	0	0	11	十日町地域消防署との応援協定による出動を含みます。
管轄外等	0	0	0	

火を使う　その手で必ず　火の始末

おはなしの会のあゆみ

おはなしの会代表　柳　静江

おはなしの会の始まりは、平成元年に有線放送の編集委員会で、放送番組の中で昔話や読み聞かせをしたらいいのではないか、という話し合いの中からでした。当初夏休み期間だけ行っていたものが、そのうち「お話たまてばこ」として週1回になりました。そのころは編集委員の男性もやっていました。それが20年近く続き、やがて小学校や高齢者センターでも行うようになってきました。また、会員で紙芝居作りも始め、「孝行猿」の紙芝居では伊那の長谷村まで研修に行き、村の方から案内や説明を受けました。その後も栄村の伝説や昔話を紙芝居やＯＨＰのシートに描いたりしました。スクリーンや機材を持っていろいろなイベントにも参加しました。

地震の後にはボランティアで来村した長野、飯山の朗読会の方々と交流し、その中で読み聞かせだけでなく、ちょっとした小道具を使った寸劇や読み方の工夫なども参考になりました。

現在も行っている高齢者福祉センターや老人施設では、紙芝居や語り等の他にも歌に合わせた手遊びや口の体操なども行っています。終わって一緒にお茶のみをしたりすると「昔聞いたことがある。懐かしかった」「楽しかった」「また来てね」の声に私たちの方が元気付けられ、励まされます。栄村の方々だと話が弾むこともあります。毎年定期に行っているのは、文化祭と小学校の読書旬間に併せた読み聞かせです。文化祭では毎年出し物に悩むところですが、今までの物の内容や反省をふまえ会員の話し合いで決めています。小学校は児童がとても真剣によく聞いて、感想も発表したり、「お礼のお手紙」も頂いて、私たちの方が感謝しています。

民話の掘り起しもしたいところですが、話してくださる方が段々いなくなり、難しいところです。来年は三十周年を迎えるので、又気持ちを新たに頑張っていきたいと思っています。

公民館報 さかえ
第320号
平成29年12月1日発行

■ 発行
栄村公民館
〒 389-2703
長野県下水内郡栄村
大字堺 9214-1

■ 電話
0269-87-2100

■ 編集
栄村公民館報編集委員会

こらっせ通信

冬籠りの季節がやってきました。いよいよ栄村の文化や知恵の詰まった冬の暮らしがやってきます。冬の暮らしこそ、どこにも負けない知恵や技術が詰まっています。

栄村公民館では、冬の文化である手わさやこめっこなを色濃く継承していくため、さまざまな教室の開催を計画しています。栄村だからこそ楽しめる食文化や、冬だからこそ楽しめる手わさを暮らしに取り入れて、ここでの暮らしを堪能しましょう。一人ひとりの楽しさが村の活力に繋がります。

こらっせ来館者数のお知らせ

平成29年度来館者数

10・11月の来館者数	301名
29年度累計	1,631名
28年8月以降	3,897名

10月号でお知らせした29年度累計で誤りがありました。**誤2,266名→正1,330名**

冬の公民館講座のお知らせ

（お問合せ先:栄村公民館 87-2100）
※講座はすべて村民対象とさせていただきます。

手わさ研究会

みのやわらぐつといった様々な技術を掘り起す研究会の仲間を募ります。
期　日:12月15日（金）
時　間:午前10時
参加費:無料
持ち物:はさみ

しめなわ教室

期　日:12月16日（土）
時　間:午後2時～
講　師:中村敏二（長瀬）
定　員:10名
参加費:一人200円（材料代）
持ち物:はさみ

手ねりこんにゃく教室

期　日:3月18日（日）
時　間:午前9時30分～
講　師:桑原千恵（森）
定　員:10名
参加費:一人300円
持ち物:エプロン、三角巾、1ℓ容量以上のタッパ

あんぼ教室（事始めに丸い物）

期　日:2月3日（土）
時　間:午前9時～
講　師:えごまっ娘のみなさん
定　員:10名
参加費:一人500円
持ち物:エプロン、三角巾

みみだんご教室（涅槃会に）

期　日:1月28日（日）
時　間:午前9時30分
講　師:桑原千恵（森）
定　員:10名
参加費:一人500円
持ち物:エプロン、三角巾

栄村自然学校で「天神講」開催!!

11月23日（木）祝日、栄村公民館において自然学校「天神講」が行なわれました。「天神講」といえば、11月下旬に各集落公民館に子どもたちが集まり、子どもたちだけで勉強をしたり、ご飯を作って食べたりしながら一日を過ごすというもの。内容はその世代や各集落で異なるようですが、上級生が計画を立てて実施していました。今から20年程前まではいくつかの集落で開催されていたように思いますが、現在天神講が行われている集落はないようです。

この日、午前中に行われたのは昼食作り。春からみんなで育てたお米の収穫を味わうことが目的でしたが、郷土料理を子どもたちに伝えるため、桑原千恵さん（森）に教えていただきながら、白和えとなますうりの酢の物、きのこ汁の3品を子どもたちで作りました。「うわぁ～おもしろい～」と楽しそうになますうりをほぐす子どもたち。食べたことはあっても料理をしたことはなかったようです。

午後は割りばし鉄砲を作り、その後はきんつば焼き作り。村内の80代から30代までの方が「天神講と言ったらきんつば焼き」と懐かしそうに話をしてくれるので、伝統を感じます。自然学校できんつば焼きを取り入れたのは2年前。その時はあんこ嫌いな子どもが多く見受けられましたが、今ではこれを楽しみにしている子どもが多いようです。そんな前向きな気持ちがあってか、きんつば焼きを教えに来ていた藤木エミ子さん（極野）と藤木みち子さん（極野）からも「去年よりきんつば焼きが上手になっている」とお褒めの言葉をいただいていました。

自然学校は子どもたちで計画を進めているわけではありませんが、これを機に集落でも天神講が復活したらいいですね。

村内学校給食の現状

今年9月下旬、さまざまなメディアで、ある自治体の学校給食の状況について大きく取り上げられました。ここで報道された自治体は、民間の給食業者へ委託をする「デリバリー方式」で給食を導入していたようです。

現在、全国では、それぞれの学校で調理をする「自校方式」や複数の学校の給食を一つの調理場で調理し、配送車で各学校へ配食する「給食センター方式」、そして今回の「デリバリー方式」とさまざまな方法で学校給食が導入されています。

栄村の学校給食は「自校方式」です。長野県内で自校方式が導入されているのはわずか3割程度（平成28年度長野県学校給食実施状況等調査より）となっており、5年前と比較するとその割合はわずかではありますが減少しています。この背景には、調理室の老朽化による建て直し等があるようで、「食育」や「食の安全」という観点から自校方式を要望する声は多いようですが、コスト面や敷地等の問題でセンター方式を選ばざるを得ない状況があるようです。

児童生徒数が少人数の学校で自校給食となると1食当たりの単価が高くなるのではないかと思われますが、栄村教育委員会では、子育て支援という観点から、保護者の経済的負担の軽減と給食内容のさらなる充実を図るため、平成28年度より給食1食当たり100円の補助をしています。

▲11月10日あんぼ給食

自校給食の継続と経済的支援が行なわれる中、実際、学校ではどのような材料でどのように作られているのでしょうか。栄小学校渡辺栄養士に伺いました。

栄小学校栄養職員
渡辺雪乃

みなさん、こんにちは。栄小学校栄養士の渡辺です。今回は栄村の児童生徒のみなさんが食べている給食について紹介させていただきます。

1 食材、献立について

食材は国産、地域の旬のもの、出汁にはかつおや煮干しなど添加物の少ないものをなるべく使用しています。米、きび、あわは栄村産です。最近は直売所を通して、地域の新鮮な野菜を届けていただいています。献立は、行事食や栄村の郷土食（あんぼ・みみだんご・芋なますなど）など、様々な食材・料理を経験できるように考えています。

2 調理について

栄小約65食、栄中約57食を栄小・栄中はそれぞれ2名、秋山分校は1名の調理員さんが調理しています。作業は朝8時頃から、食材を洗う、切るなどの下ごしらえから始まります。夏は暑く、冬は寒い調理室の中、衛生管理に細心の注意を払った上で児童生徒のみなさんに「美味しい」と笑顔で食べてもらえるように工夫しながら、気持ちを込めて調理をしています。

3 給食の様子

全校がランチルームで食べ、その日の食材や料理について紹介してい

ます。残食はほとんどなく、苦手なものにも挑戦する姿があります。希望献立では、キムチとたくあんで作るキムタクごはんが人気です。

今年2回行った地域向け試食会では、「久しぶりに給食を食べたがとても美味しかった」「今後も続けてほしい」「多くの人に参加してほしい」といった声を沢山いただきました。今後も引き続き地域の皆さんと関わり合いながら、栄村らしい給食を作っていきたいと思います。地域の皆さん、今後ともご協力よろしくお願い致します。

家庭とは違い、給食という必ず提供しなければならない食事を、その時になってみないとわからない栄村産の食材で作るのは容易なことではありません。また、できるだけ添加物の少ない給食を心がけるということは、それだけの手間や時間もかかります。しかし、子どもたちの口に入るものだからこそ、伝統食の導入や地元食材の活用、素材の味が活きた本物（添加物をできるだけ使わない）の味を心がけていただいていることに頭が下がるとともに、自校給食のよさを感じます。一言に自校給食と言っても、その背景には、栄村の自然の豊かさだけでなく、各学校施設における調理室の維持管理、伝統食や地域食材に詳しい調理員の存在、学校栄養士の存在があります。さまざまな人の思いで支えられている栄村の学校給食は、小さな里山で子育てする魅力の一つと成り得そうです。

素材にこだわった学校給食をいつも提供することは大変なことであると思いますが、村民ひとりひとりの想いで安心安全な物をお届けできたらいいですね。

館報編集委員会で給食試食会に参加してきました！

11月9日（木）、栄小学校で行われた給食試食会へ参加してきました。

まずは校長室でこの日のメニューの紹介や、使用している食器がプラスチックではなく強化磁器を使っていること、調理員さんの工夫で笹の葉を器代わりに使ったこと等さまざまな取り組みについてお話を伺いました。その後ランチルームに移動をして給食をいただきました。「いただきます」の時にメニューの説明が代表の子どもと栄養士さんからあり、ただ食べるだけではなく内容を理解して食べるという意味でとても良いことだと思いました。メニューは、いろいろ工夫を凝らしてあり、味付けもとても美味しく感じられました。キビ入りのご飯なども、時々出るということでしたが、美味しかったです。特に、郷土料理の塩煮芋は、給食では前日から煮込むことができないので、素揚げをしたジャガイモに味を絡めるという方法で調理しているという事でした。そういった工夫を凝らしてまで郷土料理を提供していることに感動しました。子どもたちも美味しそうに食べていて、さすが栄っ子だなと思いました。昔自分たちが子どもの頃と比べると（当然ですが）とても豊かな食事になっていると感じました。カロリーは適度（基準値640kcal）に考えているということでしたが、量的には私たち大人にとっても十分でした（ご飯の量は子どもたちより若干多かったと思いますが）。子どもたちと話しながら食べた給食は、とても美味しかったです。ごちそうさまの後は、食器の後片づけやテーブル拭きなどを子どもたちが率先して取り組んでいてとても良いことだと気持ちよく感じました。

温かいものは温かく、冷たいものは冷たく作ってくれる人の顔が見える給食はとても貴重です。また、機会があれば参加したいと思います。

給食試食会の献立

- きびごはん
- 塩煮芋風揚げ煮
- 豚肉ときのこの炒め物
- 大根のみそ汁
- イチゴババロア

あーそんなことがあったんか　～ど先生の栄村昔語り～　其の二十五

『千曲川の改修を目論むこと③』

地域史料保全有志の会
鈴木努（通称：ど先生）
イラスト作成：佐藤洋平

皆さまいかがお過ごしですか。今年は十一月下旬に青倉で根雪となる降雪があったと伺いました。去年は12月に入ってから雪が振り始めたと記憶してますので、今年はほんの数週間ですが少し早めの雪なのでしょう。

今回も千曲川改修目論見の話しです。再び古文書の地の文に戻って読み進めます。千曲川が頻々と流れを変える、に続けてこう書かれています。

「特に弘化の（地震の）年以来は取り分けて土砂が沢山押出し、埋まってしまっている。そこで川筋の中塞ぎを開き、埋まったところは掘り下げて水流の障害がないように、川沿いの村々がお互いに深実を尽くし（真実、誠を尽くすこと）、川筋は中央に立て、川幅が広くて浅いところは深く浚って掻き流せば治水になるだろうと考えている。」

この部分では二点、注目するところがあります。まず一点目は、弘化の年から土砂が沢山押し出したというところです。これには二通りの状況が見て取れます。一つは、弘化四年三月の善光寺地震で起きた土石流の影響です。地震の発生後の犀川や裾花川には、山体崩壊による大量の土砂が流れ込みました。また『津南町史』によれば七・八月の余震の時に、外丸村で庭先まで千曲川の水が上がったといいますから、数度に亘った濁流で、千曲川の河床に大量の土砂が溜まっていったとみられます。有名な「むしくら日記」には、松代藩領で五一か所、松本藩領で四一か所の堰き止め場所が出来たと伝え、また飯山市瑞穂笹沢の小菅池も地震で破堤し下流に被害を与えたといいますから、こうした大小様々な土石流も千曲川に溜まっていったことでしょう。

その一方で、地震によって出来た山抜け崩れがその後も土砂を流し続けたこともあるようです。地震の当時松代藩が幕府に差し出した届書では、領内の山抜け崩れは大小四万一〇五一か所に及んだと記しており、善光寺地震の後の山間部や山裾では、至るところに崩壊土砂が堆積した状態だったと思われます。政府の中央防災会議がまとめた善光寺地震被害の報告書では、こうした堆積土砂がその後の豪雨や雪解けの際に河川沿い地域で土砂災害を引き起こし、千曲川などの河床を嵩上げしたはずである、としています。

そして二点目、「川筋は中央に立て」というところです。中央とは、ここでは河川敷の中央であり、高井郡と水内郡の間の中央をも指していると思われます。河川が国境や郡の境になっている場所は、江戸時代までは流路が変わると元の流路と新しく出来た流路のどちらが境目か、で相論になることが多々ありました。特に、河道が移って新しく出現した干上り地は、開墾して田畑にできるので、その帰属をめぐって両岸の村同士で争うこともあります。だから、川筋を中央にすれば、治水と境争論の解決の一石二鳥である、という意味を込めているようです。長いですが続きます。

▶千曲川　青倉から四つ廻りを望む
撮影：若狭久男

図書室だより

栄村読書旬間実施中

栄村公民館図書室では、12月4日(月)から15日(金)までを読書旬間とし、読書活動を推進しています。

知られざる読書の効果

読書をするといいことばかり。この期間に1冊の本を手に取ってみてはいかがですか？

脳が活性化する
オックスフォード大学の調査によると、集中して本を読むことは脳の活性化に繋がるそうです。

ストレス解消につながる
イギリスのサセックス大学の調査で、6分間読書をすることで、68%のストレスが解消されることがわかりました。

認知症予防につながる
読書習慣はアルツハイマーの原因である物質(ベータアミロイド)の発生を抑制することがわかっています。

☆子ども読書活動を推進しています

11月17日(金)北信保育園において、保護者向け読み聞かせ講習会が行なわれました。講師は栄小、栄中にそれぞれ週1回勤務されている図書館司書の荻原京子先生。子どもに読み聞かせを行うことはなぜいいのか、どんな絵本を選べばいいのか、読み聞かせをするときはどのようにしたらいいのかといった、読み聞かせの基本についてお話いただきました。

10月25日(水)、北信保育園において、柳静江さん(青倉)の読み聞かせ会が行われました。毎週水曜日は公民館図書室の保育園移動図書の日であり、柳さんが栄小学校で読み聞かせを行う日でもあります。小学校と保育園で時間を調整し、実現することができました。読み聞かせが始まると園児たちは身を乗り出すようにして聞き入り、本の世界へと引き込まれていました。

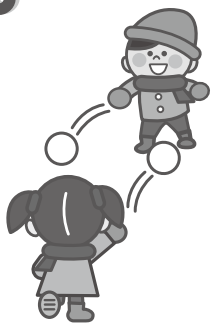
☆村内移動図書巡回中

11月から村内移動図書が始まりました！隔週で旧東部小校区(水)、旧北信小校区(木)、旧秋山小校区(金)と各集落を巡回しています。読みたい本があるときは事前に公民館図書室(87-3118)にお知らせください。可能な限り対応させていただきます。冬至の季節。といっても師走の忙しい季節でもありますが、夜の静かなひと時に本を一冊手に取ってみてはいかがでしょうか。

図書室開館時間
平　日:午前8時30分～午後5時
土　日:午前9時～正午
休館日:
12月／23・24・29・30・31日
1月／1・2・3・6・7・13・14日

おおきくな〜れ

そとあそび だいすき!



暖平(だんぺい)くん（4さい・左）　**夏芽(なつめ)**ちゃん（6さい・右）

この大自然の中で、好奇心旺盛にのびのびと大きく育っています。

島崎晋亮さん・佳美さん宅（横倉）

年輪（149）

年輪は風雪に耐えて積み重ねた歴史であり銘木の条件でもある。激動の明治・大正・昭和そして平成を生きてきざみ込まれた人生の年輪は磨かれた銘木のごとく輝く。

①人生を振り返ってみて…　②うれしかった・楽しかった思い出は…　③今思うこと・言いたいこと

阿部マスミ　大久保（84歳）

①大久保生まれ。国民中学校を卒業後、三重県の紡績工場に3年勤めた。栄村に戻ってからは家の百姓を手伝いながら冬は出稼ぎへ行った。中学生の時、冬になると裁縫室に寝泊りをしながら勉強をしていた。朝晩の炊事は当番を決めて自分たちで作っていた。

②子どもや孫が生まれた時はうれしかった。震災の時、家の被害が大きかったため、もう住めないと思い長野の息子宅で1年間暮らしたが、皆さんのおかげでまた栄村に住むことができるようになった時は本当にうれしかった。

③小学校6年生の時に終戦になるまでは苦しかった。戦後は子どもを戦争にやることなくいい時代だったが、これから先、戦争になって孫やひ孫が戦争に行くことになったら困る。

阿部貞夫　大久保（83歳）

①飯山市太田生まれ。うちが貧しかったので学校を途中でやめ、みんなが休みだった8月のお盆に市内の建具屋へ年季で勤めた。その年季が明ける前に大久保に仕事があり、3年間で何件か担当した。その後大久保へ婿養子に入り、建具屋をしながら冬は東京へ出稼ぎに出た。

②自分の子どもや孫が生まれ、みんなが達者に成人したこと。車の免許を取得し、車を運転できるようになった時もうれしかった。

③頭を叩かれながら習得した技も、時代の移り変わりと共にあまり役に立たなくなってしまった。家にいてこたつに入っているだけではボケてしまうので、今も建具屋で培った技術を活かして手わるさを続けている。

阿部かつ　大久保（83歳）

①青倉生まれ。国民中学校を卒業後、三重県の紡績工場に8年間勤めた。結婚して大久保へ。百姓をしながら野田沢にあった工場で電子の仕事や十日町しぼりの仕事をしたが、エノキ栽培を行うため退社。地震で工場が壊れるまでエノキ栽培を続けた。

②夫が亡くなった時、東京に務めていた息子が戻ってきてくれて結婚した時はうれしかった。今は大久保のみんなで誘い合って公民館でお茶のみをするのが楽しみ。

③夫が亡くなった時、今の家を建てている最中だった。それまでは夫にすべてを任せていたので、何をどうしたらいいのかわからず困った経験がある。夫婦や家族で一緒に勉強をして、相談をして物事を進めていった方がいい。

人権って何だろう

「人権」を辞書で引くと「人間に当然与えられるとされる権利」と記されています（新明解第七版）。そして「権利」とは、「物事を自分の意志によってなしうる資格」のこと。だからといってなんでも好き勝手やっていいというわけではありません。このことは日本国憲法にも「国民はこれを濫用してはならないのであつて、常に公共の福祉のためにこれを利用する責任を負ふ（第１２条）」と謳われています。この「公共の福祉」とはなんでしょうか。辞書には、「公共：社会一般の人々」、「福祉：満足すべき生活環境」とあります。ですから、「国民の権利」は社会一般の人々が満足すべき生活環境のために利用することとされているのです。「十人十色」という四字熟語があるように、一人ひとり顔が違い、考え方や趣味だって違います。そういった様々な人がいる社会・地域で、折り合いをつけてみんなが満足して暮していくためにあるのが人権です。人間は一人では生きていけません。物を買うにも、働くにもその先には必ず相手がいます。自分のことや立場だけを考えて行動するのではなく、相手の立場や気持ちを考えることを忘れてはいけません。時には衝突することもありますが、反発するのではなくお互いに妥協し合いながら歩み寄っていきたいものです。

村民広場

県北部地震から6年、高校入学して3年が経過します。周りの方に支えられていることを強く感じます。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。3歳からやってきたダンスももうすぐピリオドを打つことになり寂しく感じますが、栄村のイベントでたくさん踊らせてもらい、たくさんの人に満足していただき、うれしく思います！ありがとうございました。

来年度からは横浜に就職が決まり、村を離れます。残り数か月、村でしかできない事、やれることをしっかりやって立派な社会人になります！

上倉優那（17歳） 箕作

栄村に様々な専門家が来村します♪

○地域史料保全有志の会

古文書専門家　白水　智先生
民具専門家　石野律子先生

12月15日(金)～18日(月) 4日間

古文書班は栄村公民館にて廣瀬家文書の調査を行い、民具班は東部保育園にて市川家民具の調査を行います。興味のある方はぜひ栄村公民館へお越しください。

お問合せ先：栄村公民館（87−2100）

今月の一句 栄村俳句会

山茸　背負い来たわれ　幻か　山田政治

菊活けて　留守家頼むと　神願い　山田セキ

食欲に　九十路の秋の　箸を止め　福原勇一

スクールバス　落葉巻き上げ　上る坂　齋藤はる子

立冬の　空の青さよ　小屋仕舞い　関谷貞子

初雪や　九条守れと　街に立つ　馬場澤子

秋冷や　おさな子母に　抱かれおり　柳　静江

千曲辺を　濃霧包みて　夢のごと　杉浦恵子

編集後記

初雪の便りが聞こえて来たと思ったら、あっという間に白一色の景色になりました。いつもの冬がやって来ました。今年は、急に降ったので冬支度を慌ててしたのではないのでしょうか？

いよいよ冬本番。栄村の冬を楽しんで、ゆっくりと過ごしましょう。（美）

今月の栄っ子

vol.9 ～コミュニティスクール　剣道編～

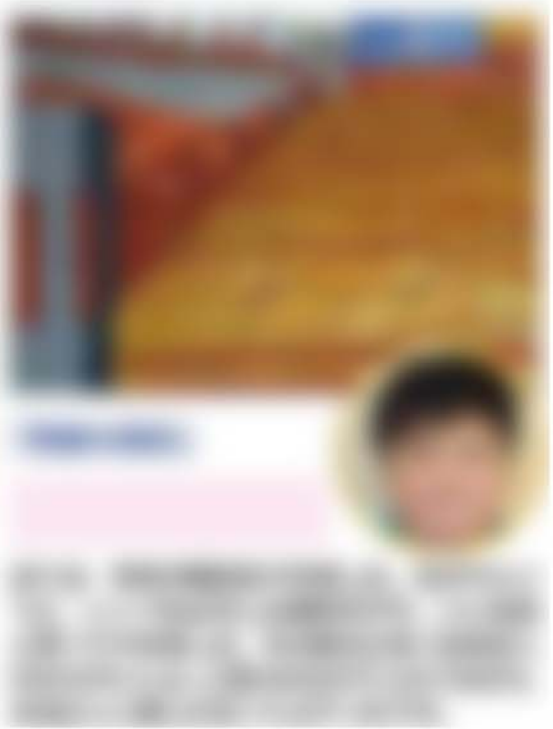
今回は「栄村コミュニティスクール」の一環として、「剣道」を学んでいた栄中学校の１，２年生の授業にお邪魔させて頂きました。

「栄村コミュニティスクール」とは、学校と地域が一緒になって学校づくりを進める事で、地域に育ち・地域に学び・地域を活かす子どもの育成をテーマに今年度から始まりました。平滝の上倉章夫さんのご指導の下、武道に大切な礼儀作法を教えていただき、「１！２！３！４！・・・」と大きな掛け声の素振りから始まり、防具を身につけ竹刀で打つ練習を行っていました。防具をつけて構える姿はとてもかっこよく、そして、たくましくも感じました。（取材　特命対策課）

▲防具の付け方を教わる様子

▲上倉さん自らによる指導も

広報ギャラリー 栄小学校



●広報さかえ　平成29年12月1日発行　●編集　総務課情報防災係
●〒389-2792　長野県下水内郡栄村大字北信3433　電話 0269(87)3111(代)　FAX 0269(87)3083
●栄村ホームページ http://www.vill.sakae.nagano.jp/　●Eメール kouhou@vill.sakae.nagano.jp　●印刷 ㈲足立印刷所